

第3弾『絵のあるまちづくり』～市制70周年記念事業～

目的 地域の方々と一緒に公共施設の壁面等を活用し、絵の描くことで、地域の子も達に景観を「守る心」、「育てる心」を養ってもらい、景観保全、落書き防止などに結び付ける。

主催 景観市民会議「景観人の集い」、あすとホール

協力 日本ペイント販売株式会社 西日本支社 近畿支店 南大阪営業所

開催日 大人の部 平成24年10月16日(火)から平成24年10月21日(日)
親子の部 平成24年11月4日(日)

場所 春日墓地の西側壁面

大人の部は期間中、天候に悩まされたのと、今回はいつも以上に広い面積なので作業は遅くまで続きます。すばらしい作品の影には努力があります(^_^)



景観人の集いより「開会の挨拶」



「作業前の壁面」
今回のキャンバスは約80m!!
全て完成すれば、壮大な壁画になりそうです。

「作業後の壁面」
無機質な壁が、すばらしい芸術作品になりました!



「作業風景」
天候にも恵まれ、壁画日和となりました。
みんなお揃いの70周年記念Tシャツを着た子ども達、黄色の花がパッと咲いたようでした。

完成写真



今年で3回目となったこの取組みは、市制70周年記念事業として、春日墓地の壁面をキャンバスに、延べ約180人もの地域の親子などが、多数参加されました。今回の壁画のテーマは「大津川から見た泉大津の四季」です。約80mの壁面をキャンバスに2年に亘り、2回に別けて描きます。今回は、さくら・花火など大津川から見た春・夏の風物詩を描きました。残りの半分、秋・冬の風物詩については25年5月頃の制作予定です。壁面下部には、自然をテーマに親子で描いた、昆虫・花・動物などがダイナミックで色鮮やかに描かれていますので、お近くにお立ち寄りの際は、ぜひこの壁画をご覧ください。

初めての大きなキャンバスを前に「どうしよう〜」と奮闘していました。



すばらしい大津川からの眺めを前に、子ども達もいっそう腕を奮います。



景観人も色合わせに大忙し!!
「子ども達のカラフルな要望にも答えます!」

